

所属・資格 総合文化研究室・教授

申請者氏名 椎名 正博

研究課題		『解放されたエルサレム』におけるタンクレディ像
報告の概要	研究目的 および 研究概要	第1回十字軍に参加した実在の騎士、タンクレディはイタリア・ルネサンスの詩人トルクアート・タッソによる叙事詩『解放されたエルサレム』によって、そのイメージを激変させることになった。実在のタンクレディからタッソに描かれたタンクレディへの変貌をつまびらかにし、その後の時代におけるタンクレディ像へどのようにつながっていくかを考察する。
	研究の結果	実在した第一回十字軍の英雄、タンクレディに関する記録は、ともに従軍したフランス人ラウル・ド・カーンの書いたもののほかにもいくつか存在する。これらを読み込むことによって、タッソによって描かれたタンクレディ像が、必ずしも詩人の理想化した若き騎士像というよりは、実在のタンクレディ像に近いことが判明した。正義感の強い、まっすぐな若者だったタンクレディは、ルネサンスの詩人タッソによって、敵の女戦士に恋する青年に書き換えられてしまう。実際は凄惨な戦闘の連続でしかなかった十字軍が、これによってロマンチックな恋物語に変貌させられ、ヨーロッパのキリスト教徒にとって美化され、理想化されたキリスト教の勝利となったのである。
	研究の考察・反省	残念ながら、原資料というべきテキストは中世ラテン語で書かれ、またタッソの『解放されたエルサレム』の原著は古いイタリア語で書かれていて、筆者には直接読むことができない。しかし、資料の多くは現代フランス語に翻訳されており、タッソの原著も現代フランス語と原テキストの対訳本があつて、読むことができ、これによって研究は大きな恩恵を受けることができた。また、本研究は「歴史と文学」の関係や物語の人物像の変遷とその背景との関係を考察するためには、格好の素材であることが明確になったと考えている。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※ この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 国際文化表現学会 2018 年度大会 タンクレーディ物語の変容-カンプラからロッシーニのオペラへ 2018 年 5 月 12 日 / 十文字学園女子大学
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	